

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「主の家に住むということ」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「主は私の羊飼いです。私は乏しいことがない。主は私を緑の野に伏させ、憩いの汀に伴われる。主は私の魂を生き返らせ、御名にふさわしく、正しい道へと導かれる。たとえ死の陰の谷を歩むとも、私は災いを恐れない。あなたは私と共におられ、あなたの鞭と杖が私を慰める。私を苦しめる者の前で、あなたは私に食卓を整えられる。私の頭に油を注ぎ、私の杯を満たされる。命あるかぎり、恵みと慈しみが私を追う。私は主の家に住もう、日の続くかぎり。」
(詩編 23:1-6、聖書協会共同訳)

世界中で感染症の不安が渦巻く中、逝去された方々の魂の平安がありますように、私たちに希望の光をお与えくださり、なすべき勤めをお示しくださいと祈ります。

感染リスクの軽減は誰も認める大切な行動です。その一方で仕事を休むことのできない家庭の支援を行なう保育園や医療機関などの現場では普段以上の衛生管理の徹底や相当の気遣いを強いられる中、使命感をもって働く方々がおられます。教会の現場でも、様々な思いを聴き合いながら、互いを尊重し、気遣い合う日々を送っておられると思います。

時には無力感を味わい、恐れや不安によるストレスを覚え、尽きない悩みの中にあっても、私たちは祈ることを決して止めません。教会に集まることがかなわないという状況もある中、インターネットを使用する新しい礼拝の在り方も備えられつつありますが、一方で手紙・電話や訪問などという、これまでのように丁寧な牧会配慮も改めて大切にできればと思います。

日曜日に教会に集い、共に祈り、聖餐の恵みに与り、互いの安否を気遣い合う関係が、どれほど私たちの心身の支えとなっているかを改めて思い知らされています。いまこの時、魂の飢え渇き、恐れや不安の感情、弱い立場にある方々の苦難を覚える大齋節を私たちは歩んでいます。広く世のすべての人々のために祈る祈り書の「嘆願」をささげつつ、私たちの羊飼いである主の復活の命に与らせてくださいと祈り、その姿を示す宣教者として、主の家に住むものであり続けたいと願います。

□会議・プログラム等予定

(2020年3月25日以降)

3月

- 25日(水) 財政主査会〔管区事務所〕
- 25日(水) 正義と平和・ジェンダープロジェクト会議〔管区事務所〕
- 30日(月) 女性の聖職位に関わる委員会〔管区事務所〕

4月

- 2日(木) 管区会計監査〔管区事務所〕
- 13日(月) 主事会議〔管区事務所〕
- 17日(金) 正義と平和委員会〔管区事務所〕
- 20日(月) 常議員会〔管区事務所〕
- 21日(火) 聖公会/ルーテル教会協議会作業部会〔管区事務所〕
- 27日(月) 正義と平和・原発問題プロジェクト〔管区事務所〕
- 27日(月) 青年委員会〔管区事務所〕

5月

- 1日(金) 日韓合同主教会・臨時主教会〔名古屋〕
- 2日(土) 中部教区主教按手・就任式〔中部教区主教座聖堂〕
- 12日(火) ~ 13日(水) 日韓協働合同会議〔管区事務所〕
- 19日(火) ~ 21日(木) 新入人権研修会〔管区事務所・狭山〕
- 28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

<関係諸団体会議・他>

- 3月26日(木) 韓・朝鮮半島の平和を求めるキリスト者集会実行委員会〔早稲田〕
- 4月2日(木) 東京オリンピック・パラリンピック多宗教センター実行委員会〔早稲田〕
- 7日(火) WCC 総会プレゼンテーション検討委員会〔早稲田〕

(次頁へ続く)

※4月8日(水)は、管区事務所職員研修のため、午後からの業務を休業いたします。よろしくお願いたします。

☆4月10日(金)は、受苦日礼拝のため、管区事務所の業務を休業いたします。よろしくお願いたします。

公 示

救主降生2020年3月5日
 日本聖公会
 首座主教 ナタナエル植松 誠 ㊞

日本聖公会中部教区主教 ペテロ 洪澤 一郎
 師の定年退職にともない、下記の通り管理主教を
 委嘱いたします。

記

日本聖公会法規第10条第1項により、日本聖公
 会横浜教区主教 イグナシオ 入江 修 師に、日本
 聖公会中部教区の管理主教を委嘱する。

任期は、2020年4月1日より、次期中部教区主教
 就任の日までとする。

以上

(前頁より)

- 14日(火) 東京オリンピック・パラリ
ンピック多宗教センター実行
委員会〔早稲田〕
- 14日(火) 同宗連 40周年記念行事
〔東京〕
- 15日(水) 同宗連総会〔神社本庁〕
- 23日(木) 日本キリスト教連合会総会
〔早稲田〕
- 27日(月) ACT ジャパンフォーラム運
営委員会〔早稲田〕
- 5月7日(木) NCC 役員会〔早稲田〕
- 7日(木) 難キ運運営委員会・世話
人会〔早稲田〕
- 11日(月)～13(水) 日韓在日移住
民シンポジウム〔在日本韓国
YMCA〕
- 14日(木) NCC 役員会・常議員会〔早
稲田〕
- 18日(月) マイノリティ宣教センター
理事会〔早稲田〕

第65(定期) 総会期書記局

書記長

司祭 斎藤 徹 (北関東)

書記

司祭 平岡 康弘 (北関東)

司祭 太田 信三 (東京)

司祭 北澤 洋 (横浜)

司祭 姜 暁俊 (横浜)

聖職候補生 荻原 充 (東京)

聖職候補生 藤田 誠 (東京)

第65(定期) 総会代議員

聖職代議員

- 北海道 司祭 ペテロ大町信也
- 司祭 クリストファー永谷 亮
- 東北 司祭 ステパノ越山哲也
- 司祭 フランシス長谷川清純
- 北関東 司祭 パウロ矢萩栄司
- 司祭 エレミヤ・パウロ木村直樹
- 東京 司祭 ニコラス中川英樹
- 司祭 フランシス下条裕章
- 横浜 司祭 ルカ片山 謙
- 司祭 エドワード宇津山武志
- 中部 司祭 テモテ土井宏純
- 司祭 アンブロジーア後藤香織
- 京都 司祭 セシリア大岡左代子
- 司祭 アントニオ出口 崇
- 大阪 司祭 ジョイ千松清美
- 司祭 ステパノ柳 時京
- 神戸 司祭 ヨハネ芳我秀一
- 司祭 パウロ上原信幸
- 九州 司祭 バルナバ牛島幹夫
- 司祭 テモテ山崎貞司
- 沖縄 司祭 イザヤ金 汀洙
- 司祭 ヨハネ戸塚鉄也

信徒代議員

- グレゴリー大友 宣
- ルツ矢部幸子
- バルナバ赤坂有司
- フランシス島山秀文
- マルコ谷川 誠
- サムエル廣瀬 清
- テレジア黒澤圭子
- ヤコブ後藤 務
- テモテ中林三平
- グレース村井恵子
- ヨハネ牛島達夫
- クリスティーヌ池住 圭
- アイレネ佐々木靖子
- レオ出口 弘
- ヨハネ太田幸彦
- テレジア鈴木光子
- ルデア覚前康子
- ジョージ大東正人
- ルツ柴田康子
- ルカ園木一男
- クリストファー大倉信彦
- エリザベツ洲鎌君代



□各教区 ※コロナウイルス感染症防止のための日程変更にご注意ください。

東京

- ・第136(定期) 教区会招集を延期。延期後の招集日時はあらためて公示する。

大阪

- ・第124(臨時) 教区会招集を延期。延期後の招集日時はあらためて公示する。

神戸

- ・聖職按手式延期。3月21日(土)に予定されていた聖職按手式を延期。延期後の日取りはあらためて公示する。

沖縄

- ・聖職按手式 2020年4月25日(土)10時半 主教座聖堂 三原聖ペテロ聖パウロ教会
司式: 主教 ダビデ上原榮正 説教: 前沖縄教区主教 主教 ダビデ谷 昌二 司祭按手
志願者: 執事 ヨシユア上原成和

□神学校

聖公会神学院

- ・2020年度入学礼拝 2020年4月6日(月) 14時～ 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂 司式: 司祭 西原廉太 説教: 校長 司祭 中村 邦介 入学予定者: 福永 澄(東京) 信徒の奉仕・召命コース: 尾関敏明(北海道)、聖職候補生 染谷孝章(横浜)、直井 岳(北海道)

ウィリアムス神学館

- ・2020年度入学礼拝 2020年4月2日(木) 11時～ 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 司式: 京都教区主教 主教 ステパノ高地 敬 説教: ウィリアムス神学館 館長 司祭 ヨハネ黒田 裕 入学予定者: 聖職候補生 ステパノ高野 洋(横浜)、サムエル藤井和人(京都)、ダビデ梁 ^{ヤン・クオンモ} 権模(京都)

□関係諸団体

日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)

- ・第106総会を開催。会長に足立征三郎、副会長に尾崎茂雄、木島 出の諸氏を再選。
- ・5月23日に予定のセミナー「来日宣教師の働きと教区編成」はコロナウイルス感染の状況に鑑み開催を延期します。

†逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 ペテロ久保田伊作(横浜・退職) 2020年3月21日(土) (93歳)

□お詫びと訂正

2020年2月25日発行の『管区事務所だより第351号』《人事》の欄の誤植を訂正いたします。

東北

(誤) 司祭 ドミニコ李 賛熙
(正) 司祭 ドミニコ李 賛熙

司祭 パウロ渡部 拓

(正) 2020年4月1日付(発令日加筆)

福島聖ステパノ教会牧師、小名浜聖テモテ教会牧師に任命する。

司祭 ピリポ越山健蔵

(誤) 聖ペテロ教会伝道所居住

(正) 聖ペテロ伝道所居住

東京

司祭 ロイス上田亜樹子

2020年4月1日付

(誤) 聖愛教会 → (正) 神愛教会

《人事》

北海道

司祭 アルバン阿部芳克 2020年3月31日付 紋別聖マリヤ教会牧師の任を解く。定年退職とする。

司祭 フランシスコ飯野正行 2020年4月1日付 紋別聖マリヤ教会協働司祭、紋別幼稚園協働チャプレンに任ずる。

主教 ナタナエル植松 誠	2020年4月1日付	紋別聖マリヤ教会管理牧師、紋別幼稚園チャプレンに任ずる。
司祭 ヘレン木村夕子	2020年4月1日付	道北分区における協働司祭に任ずる。(任期1年)
司祭 ミカエル広谷和文	2020年4月1日付	紋別聖マリヤ教会協働司祭、紋別幼稚園協働チャプレンに任ずる。
司祭 パウロ内海信武(退)	2020年4月1日付	平取聖公会及び新冠聖フランシス教会での囑託司祭、またバチラー保育園チャプレンを委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 アンデレ甲斐博邦(退)	2020年4月1日付	道北分区における囑託司祭及び深川あけぼの保育園チャプレンを委嘱する。(委嘱期間1年)
司祭 ダビデ藤井八郎(退)	2020年4月1日付	函館聖ヨハネ教会及び今金インマヌエル教会での囑託司祭を委嘱する。(委嘱期間1年)

東北

<信徒奉事者認可> 2020年2月10日付
 (大館聖パウロ教会) クララ小田切光子、マルタ田畑瑠美子

北関東

司祭 フランシス秋葉晴彦	2020年3月31日付	休職を解く。
	2020年4月1日付	願いにより退職を許可する。
司祭 ミカエル浅見卓司	2020年3月31日付	休養を解く。
	2020年4月1日付	主教座聖堂付きとする。
司祭 サムエル興石 勇(退)	2020年4月1日付	榛名聖公会囑託勤務(協働司祭)を委嘱する。(任期1年)
司祭 アンデレ斎藤英樹(退)	2020年4月1日付	毛呂山聖霊教会囑託勤務(協働司祭)を委嘱する。(任期1年)
伝道師 アンブローズ久保田 智(退)	2020年4月1日付	日光真光教会囑託勤務を委嘱する。(任期1年)

横浜

ステパノ高野 洋	2019年11月12日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。
セバスチャン染谷孝章	2019年11月12日付	日本聖公会聖職候補生に認可する。
主教 イグナシオ入江修	2020年3月31日付	柏聖アンデレ教会管理牧師を解任する。
司祭 ダビデ渡部明央	2020年4月1日付	柏聖アンデレ教会管理牧師に任命する。

中部

(2020年1月21日付公示を取り下げ、改めて下記の人事異動を発令いたします。)

主教 ペテロ洪澤一郎	2020年3月31日付	定年により退職とする。 名古屋聖ステパノ教会、豊田聖ペテロ聖パウロ教会、豊橋昇天教会、福島教会、飯田聖アンデレ教会管理牧師を解任する。
	2020年4月1日付	長野伝道区内各教会における主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 テモテ土井宏純	2020年3月31日付	軽井沢ショー記念礼拝堂牧師を解任する。

	2020年4月1日付	主教座聖堂付とし、名古屋聖ステパノ教会、福島教会、飯田聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
司祭 エリエゼル中尾志朗	2020年4月1日付	豊田聖ペテロ聖パウロ教会、豊橋昇天教会管理牧師に任命する。
司祭 フランシス江夏一彰	2020年4月1日付	軽井沢ショー記念礼拝堂管理牧師に任命する。
司祭 ダビデ市原信太郎	2020年4月1日付	軽井沢ショー記念礼拝堂における主日礼拝への協力を委嘱する。
司祭 ヨセフ石田雅嗣	2020年4月1日付	上田聖ミカエル及諸天使教会における主日礼拝への協力を委嘱する。
司祭 マルコ箭野眞理(退)	2020年4月1日付	司祭中尾志朗のもとで豊橋昇天教会、豊田聖ペテロ聖パウロ教会の嘱託を委嘱する。(任期1年)
	2020年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 ペテロ田中 誠(退)	2020年4月1日付	司祭江夏一彰のもとで松本聖十字教会、司祭土井宏純のもとで稲荷山諸聖徒教会における主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
主教 サムエル大西 修(退)	2020年4月1日付	愛岐伝道区内各教会における主日礼拝等への協力を委嘱する。(任期1年)
司祭 アンブロージア後藤香織	2020年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
司祭 ヨセフ下原太介	2020年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)
聖職候補生 ヨハネ相原太郎	2020年2月22日	公会の執事に按手される。
執事 ヨハネ相原太郎	2020年2月22日付	岐阜聖パウロ教会牧師補に任命する。
	2020年4月1日付	学校法人柳城学院チャプレンとして派遣する。(任期1年)

京都

<信徒奉事者認可・分餐奉仕許可>

(聖アグネス教会)

2020年2月18日付 (任期1年)
サムエル藤村大輔

神戸

主教 オーガスチン小林尚明	2020年4月30日付	神戸聖ペテロ教会管理牧師の委嘱を解く。
司祭 デオヌシオ遠藤雅巳	2020年4月30日付	神戸聖ペテロ教会副牧師の任を解く。
	2020年5月1日付	神戸聖ペテロ教会牧師に任命する。

沖縄

聖職候補生 ウリエル仲宗根遼祐	2020年4月1日付	三原聖ペテロ聖パウロ教会牧師司祭イサク岩佐直人のもとで勤務することを命ずる。
-----------------	------------	--

《教会・施設》

四辻伝道所(京都)	2020年2月9日付	設立認可取り消し。
-----------	------------	-----------

第5回 ハラスメント・防止・対策担当者会を開催

—取り組みの状況を共有し、当面する諸課題を確認—

管区ハラスメント防止・対策担当者 司祭 エレミヤ・パウロ 木村直樹

去る2月23日(日)午後6時から24日(月)午後3時半まで、牛込聖バルナバ教会ホールを会場に、第5回ハラスメント防止・対策担当者会が行なわれました。京都教区と大阪教区の担当者が残念ながら参加できませんでしたが、その他の教区の担当者、ならびに人権問題担当主教の武藤謙一主教ほか管区の女性デスク、人権問題担当者など、17名が出席しました。

今回の担当者会の開催目的は、各教区と管区のアラスメントに関する取り組みの状況を共有し、2019年の研修会の時に出された諸課題の解決に向けて協議するというものです。

まずオリエンテーションにおいて、昨年の研修会に出された諸課題が示されました。初期対応への整備、相談員のマニュアル作り・研修、定期的な研修(教役者/信徒/防止委員)、調査委員会の立ち上げの方法と人選、調査資金の準備、防止委員会の体制の整備(規定・人材・教区内の動きの再確認)です。

これらの諸課題を協議するにあたって、次のことを約束事とすることが提示されました。「人の話をよく聴く」「人の言葉を遮らない」「自分と違う意見も否定せず、まずは受け入れて考える」「一人が長く話さず、皆が発言できるように配慮する」「守秘義務を守る」「教役者も信徒もフラットな関係の場とする」「話せないこと・話したくないことは話さなくても良い」等々。

第一日目は、事前に各教区のアラスメント防止・対策委員会に出したアンケートに基づいて、各教区のアラスメント状況を分かち合いました。これらを取り纏めると、次のことが課題として浮かび上がって来ました。調査委員会の立ち上げのノウハウ(人選・立ち上げのタイミング・経費)、調査・確定・対処・寄り

添い(Aftercare)、相談員の人選基準・研修、防止委員会の関わる範囲(教会関係だけでなく、教会関連法人での案件にも対応する必要の有無)などです。

第二日目は、管区元臨時職員によるアラスメント事件の最終検証について、この事案を担当した管区担当者の木村からの報告がありました。最終検証報告については、被害者ならびにその支援者が一定の評価をしていてくれること、また加害者がいまま謝罪を拒否していること、そしてこのアラスメント事件において感じたことは、加害者が謝罪できるための環境づくり、つまり加害者に対するケアも必要であったことなどが報告されました。

もう一人の管区担当者である西原美香子さんからは、組織整備のための以下の資料が、出席者に配布されました。「日本聖公会〇〇教区アラスメント防止・対策委員会規程」「日本聖公会〇〇教区アラスメント調査委員会規程」「電話相談内容」「アラスメント調査委員会設置 申請書」「日本聖公会〇〇教区におけるアラスメント調査委員会 調査委員就任にあたって」「アラスメント調査マニュアル」。これらの資料は、教区のアラスメント防止・対策委員会をこれから立ち上げようとする教区にとっても、すでに防止・対策委員会の諸規定を持っている教区にとっても参考となるものです。ことに「アラスメント調査マニュアル」は、アラスメントにおける調査とはどういうことなのかを詳しく説明した文書で、今後、アラスメントの調査が必要とされる際の必須のマニュアルになると思われます。

続いて、二つの教区から事例報告がありました。

その後、管区女性デスクの吉谷かおるさんから「アングリカンコミュニオン諸管区のすべての人—ことに子ども、青年、弱い立場の大人—の安全を高めるためのガイドライン」の説明を受けました。ハラスメント防止の活動が、聖公会の諸管区が取り組もうとしている教会の安全を高める働きに連なるものであることを示されました。

これらの諸報告を受け、三つのグループに分かれてディスカッションを行ないました。各グループともに、熱心な話し合いがなされました。各グループの発表で印象に残っているものを列記すると、相談の方法について、電話・メール・手紙などが考えられるが、どの方法が良いのだろうか？ 心に病いを持っている方の相談はどのように対応したらよいのか？ ハラスメント事案の終結とは何だろうか？ 啓発活動をどのように行

なったらよいのか？ など、ハラスメント防止・対策を担当することになったことから生じる疑問が多く出ていました。またまず教役者の研修が大切であること、また相談を受ける者はカウンセリング(聴くこと)についての最低限の研修が必要であること、これから取り組むべき課題が見えてきたという意見も出ました。

最後に全体協議に移りました。そこでは「アングリカンコミュニオン諸管区のすべての人—ことに子ども、青年、弱い立場の大人—の安全を高めるためのガイドライン」の根底にあるセーフチャーチ(安心・安全な教会)という考え方が、すべての教会で理解され、声を出せない人、弱い立場におかれた人のことを考える教会でありたいとの願いが、参加者すべての人に共有されたように思います。

2020年 沖縄週間／沖縄の旅参加のおさそい

—沖縄の歴史を学び、現在を知る—

正義と平和委員会・沖縄プロジェクト 司祭 サムエル 小林祐二

本年も「沖縄週間／沖縄の旅」のご案内をさせていただく頃となりました。

日本聖公会第64(定期)総会において可決された『「沖縄週間」継続の件』は、「2019年から2022年までの毎年、沖縄慰霊の日(6月23日)を含む1週間を「沖縄週間」とし、沖縄の宣教課題を具体的に共有する祈りやポスターなどを作成して全国の諸教会で用いる。」と定めています。まず本年も全教区・教会にある兄弟姉妹とともに沖縄に思いを寄せ、主の平和を求めて祈る沖縄週間をお覚えくださいますよう、お願いいたします。

そして本年も沖縄教区と管区正義と平和委員会が協働し、「沖縄週間／沖縄の旅」を準備しております。新型コロナウイルスの影響により聖堂に集うことさえままならない教会もあるなか、果

たして本年はどうなるのかという不安が無いわけではありません。しかし早期の終息と皆さまの平安を祈りつつ、5月上旬の開催判断のときを節目とし、与えられた時間の中で精いっぱい準備をなそうと思っております。

本年のテーマ:「命どう宝～無関心に気づく～」
主題聖句:「わたしは知っている」

(アモス書5:12)

日程:6月19日(金)～22日(月)

この「沖縄週間／沖縄の旅」では、米軍基地や日米の関係等を前面に据えたプログラムが多く企画されて参りました。沖縄に思いを寄せようとするとき、これらの課題は避けて通ることができないからです。しかしまた沖縄は「琉球」から「大和」、「大和」から「アメリカ」、「アメリカ」から「大和」へと治政がめまぐるしく変移した地であ

りながら、その豊かな自然、文化を守り続けてきました。

本年はまずその“沖縄”の歴史に立つことから始めたいと考えております。そしてその歴史の傷跡が、どのような地・人びとに刻まれ、今どのように語られているかを顧みるなかで、現在から未来への平和を求める糧が与えられることを願っております。

プログラムは初めて参加する方々も参加しやすいものとなるよう組み立てております。

6月19日(金)：～沖縄の歴史と文化を巡る～

三原聖ペテロ聖パウロ教会に集合。県立博物館で学習。グループでスタッフの案内により国際通り・やちむん通り等を散策、夕食。三原へ戻り沖縄の芸能体験。スタッフ手配のホテル泊(沖縄の観光ホテル第1号「沖縄ホテル」)。

20日(土)：～沖縄戦を巡る～

バスでフィールドトリップ(ガマ体験、平和祈念公園、昼食、等)へ。夕方三原へ戻り沖縄教区内の諸教会に分かれて過ごします(分宿)。

21日(日)：～祈り、分かち合う～

分宿先教会で主日聖餐式等を過ごし、午後には北谷諸魂教会での沖縄教区「慰霊の日」礼拝・プログラムに参加。夕方三原へ戻り「分かち合い」と夕食。各自手配のホテル泊。

22日(月)：～現実への旅立ち～

各自で朝食を済ませ、三原集合。バスでフィールドトリップ(嘉数高台から普天間基地見学)へ。閉会礼拝・解散。

以上のように、「まちまーい」(街巡り)や芸能体験といった、感覚から味わう時間、展示や戦跡から学ぶ頭と心を用いる時間を組み合わせています。

3泊4日で沖縄の全てを学ぶことは難しく、また傷跡に心を痛めることもあるかもしれませんが、その体験がわたしたちの祈りの糧となり、今年のテーマ「命どう宝～無関心に気づく～」そして主題聖句「わたしは知っている」(アモス書5章)から語られる問いかけを、沖縄から持ち帰ることができれば幸いです。この3月末に各教会宛に配布される案内をご覧のうえ、ぜひご参加くださりますよう、おさそいいたします。



○日本聖公会『管区事務所だより』購読料改訂のお知らせ

日本聖公会の宣教理念と管区・各教区の実践活動、また世界各国の聖公会の動向を毎号の誌面で的確にお伝えする広報誌『管区事務所だより』の年間購読料について、通信費・紙代・インク代の値上がりなど、さまざまな事由のため、2020年より購読料改訂を実施させていただくこととなりました。年間の購読料金は、2020年2月以降のお申込みから、個人

1,200円、1か所につき2部以上ご希望の場合は1部1,000円といたします。ご不明な点等ございましたら、管区事務所宛に電話にてお問い合わせください。余儀ない事情をご理解いただき、今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

管区事務所 電話：03-5228-3171

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。